



ボディペインティング（もも組）



「運動会モード突入」



運動会の練習（ほし組）

今年も8月は酷暑で戸外では息苦しいくらいで、思いっきり遊べる日ばかりではありませんでした。熱中症警戒アラートを確認しながら、毎日活動を進めていき、中でも「水遊び」は思いっきり楽しんでいました。水を掛け合ったり、泥団子を作ったり、泥に体を埋めたり、子どもたちが自分たちで考えた遊びで、子どもも職員もみんないきいきと園庭で楽しんでいました。

また、たくさんのクラスがボディペインティングを楽しみ、普段は描かない腕や足、大きな模造紙など様々な場所に色を乗せることで想像力や表現力を子どもたちなりに体験できたと思います。最初は手や服が汚れることに戸惑っていた子どもだんだん自由にダイナミックに絵具遊びの楽しさを味わっていたように感じました。

また、今年は幼保小連携活動の新たな取り組みとして、保育園から小学校への移行（接続）がスムーズにいくように、日の出小の先生2名、春日北小の先生1名が保育園へ参観に来ていただく新たな取り組みがありました。春日市ではこの活動が活発で、これまでは保育園側が卒園生の小学1年生の参観に行っていました、一歩進んだ取り組みが始まりました。

保育活動には国が定めた「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」というものがあって、幼稚園・保育園とも共通しています。これは到達目標ではなくて、小学校への移行（接続）がスムーズに行われることを目指したもので、学校的な発想だと「～できるようになることを目指す」と思いがちです。

しかし、ここに注目しすぎると（成長を）「引っ張る」ような保育となり、若竹保育園が行っている子ども（たち）の「主体的・考える・やってみる」を大切にする「待つ」保育にたどり着けません。今回、参観に来ていただいた先生たちにも「待つ」保育がもたらす、子どもたちの「生きる力」につながる「主体的・考える・やってみる」がこの年代でできていることを感じていただきました。

若竹保育園が行っている保育による子どもたちの成長過程の一部を観察していただいたことは、お互いの機関が担っている子ども一人一人の人生の連続性をスムーズに接続していくための役割を、共有できた機会となりました。

今後はこの参観等連携活動に関わる先生が増え、幼保小で共有し、さらにカリキュラムとして具体的活動に進んで行く必要性を感じました。

さて、9月に入り、園内は運動会モードに突入いたします。残暑厳しい中で、まだまだ熱中症警戒アラートを確認しながら、時には遊戯室も含め、星・月・桜の子どもたちは運動会の練習で一生懸命に体を動かし活動すると思います。

ご自宅で運動会練習の出来事を話すことも多くなると思いますので、ゆっくり聞いてあげてください。

令和7年9月1日

若竹保育園 園長 光山 博康

給食だより 9月

栄養士 寺片

9月に入ってもまだまだ暑い日が続きます。

夏の疲れが出てくるこの時期！規則正しい生活を心掛け、旬の野菜を満喫して残暑を乗り越えましょう。今月は運動会の練習などで運動量が増え子どもたちの食欲がますますでしょう！

子どもの頃から適塩に！

子どもは大人に比べて味覚が敏感であり、大人が美味しいと感じる味付けは子どもには濃いことが考えられます。また、濃い味に慣れると薄味では物足りなくなるため子どもの頃から、料理は薄味にし素材の持つ本来の味を楽しむように心がけましょう。

おいしく減塩するコツ！



薬味や香辛料を効かせる

わさびや生姜、こしょうやカレー粉などの薬味や香辛料を用いると、味にメリハリがつきます。

酸味をつける

レモンやゆず、酢などを利用し酸味を効かせると塩分控えめでもおいしく食べる事ができます。

だしのうま味を利用する

昆布、削り節、干し椎茸などの濃いめの「だし」を使うと、塩分が少なくてもおいしく仕上がります。

汁物は具沢山にする

塩分の多い汁の量を減らし、野菜や海藻をたくさんとることができます。

9月1日 防災の日

いざという時のために非常食を備蓄していますか？

若竹保育園でも万が一の時の備えとして非常食を備蓄し、避難訓練で非常食の食べ方など学びどного飯なのか実際に食べ、※ローリングストックでまた足りない分を買い足し備蓄しています。

昼食で9月1日に非常食を食べます！

※ローリングストックとは・・・

定期的に備蓄食品を食べて足りなくなった分を買い足していく方法です。食品を一定量に保ちながら消費と購入を繰り返すことで備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食事をする事ができます。

例) ・飲料水・レトルト食品(おかゆ・カレーなど)・インスタント食品(カップ麺・スープ)

・栄養補助食品(カロリーメイト・ゼリーなど)・菓子類

【・常温で保存可能なもの・調理せずに食べられるもの・期限が1年以上のものが適しています】

調理が出来るように水・鍋・カセットコンロ・ガスボンベも用意しておきましょう！



9月の保健だより



看護師 坂口

8月もとても暑い日が続きました。子どもたちは暑さに負けず、元気一杯。水遊び、どんぐり遊び、虫採りなど、夏ならではの遊びを満喫していました。

9月も、まだまだ暑い日が続くようです。今から、夏の疲れが出やすい時期です。また、以上児クラスは、運動会の練習も始まります。ゆくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなど、翌日に疲れを残さないよう掛け、1本調の管理を行っていきましょう。感染症予防も引き続き行っていきましょう。

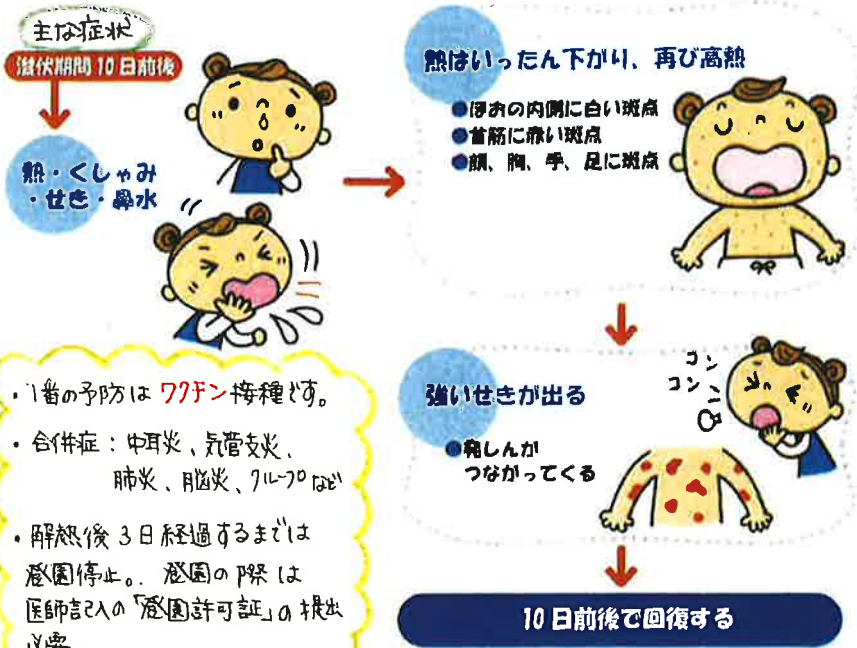
はしか(麻疹)について

ニュースで報道されていますが、福岡でははしか(麻疹)の感染者が増えています。

はしかは、**空気感染**が主な感染経路です。

※ 空気感染は、感染者と同じ空間にいる、また、感染者が部屋の中にいた場合、その人が出た後も一定の時間、部屋の空気中にウイルスが浮遊しているため、その後に入った人も感染する可能性があります。

コロナやインフルエンザに比べて、**感染力が非常に高い**です。



- 1番の予防は **ワクチン** 接種です。
- 合併症：中耳炎、気管支炎、肺炎、脳炎、脳脊髄炎
- 解熱後3日経過するまでは登園停止。登園の際は医師記入の「登園許可証」の提出必要。

8月の健康状況

- インフルエンザA型 1名
- りんご病 4名
- 溶連菌感染症 4名
- アデノウイルス感染症 2名

上記は8月末時点まで出ています。

- 新型コロナウイルス感染症 3名

ニュースでも、増加の傾向にあるとされているため要注意です。

- 百日咳 1名
- RSウイルス感染症 2名

8月末時点では落ち着いています。

感染症と診断される子は少いとはいえ、様々な種類の感染症が出ています。日頃からの手洗い、うがいなどの感染予防の取り組みが大切です。引き続き行っていきましょう。

ご家庭で、登園前の体調チェックをいただいていると思います。

「いつもと様子が違うな」と感じたり、1日中に体調に変化があれば、お知らせ下さい。

お口の健康を守り育てる

【 上唇小帯について 】

歩き始めの乳児や活発に走り回る幼児などは、転んで顔をゴーンとぶついたりすることが多いです。

前歯辺りを打つと、上唇の裏にあるヒダ(上唇小帯)を切って出血することがあります。

しかし、血が止まれば心配いりません。また、何度も切ってしまう子もいます。

歯をぶつけた場合は、かかりつけ医に見てもらいましょう。将来的には、ヒダが無い方が歯並びに影響しにくかったり、食べカスがたまりにくかったりするので、ヒダがなくても困ることはありません。



古賀デンタルフォレスト